

<第10回JEC検討委員会全体会合資料> (2012年10月19日)

~~~~~

## JEC 農中総研委託調査研究の進め方について (案)

2012年10月  
JEC 検討委員会(寺西メモ)

### 1. JEC 検討委員会のこれまでの主な取り組み:

- ・ 2011年3月21日(月):
  - > JEC からのお見舞いメッセージ(「東北関東大震災の被災者の皆様方へ」)
- ・ 2011年4月10日(土):
  - > 緊急報告: 竹内敬二(朝日新聞編集委員)  
「今回の大震災と原発事故をめぐって-報道現場からの問題提起-」
- ・ 2011年5月20日(金):
  - > 日本環境会議(JEC)「東日本多重災害復興再生政策検討委員会」(以下、JEC 検討委員会)の発足会合(第1回JEC 検討委員会全体会合)
  - > 報告: 塩崎賢明(神戸大学教授・JEC 理事)  
「今回の多重災害の復興再生への提言-阪神大震災からの教訓を踏まえて-」
- ・ 2011年5月27日(金):
  - > JEC 検討委員会の発足声明公表
- ・ 2011年6月18日(土):
  - > 第2回JEC 検討委員会全体会合
  - > 報告: 清水修二(福島大学副学長・同災害復興研究所所長)  
「福島原発事故の被害と今後の課題をめぐって」
  - > 報告: 除本理史(大阪市立大学准教授・JEC 常務理事)  
「福島原発事故の被害と補償をめぐって」
- ・ 2011年7月16日(土):
  - > 第3回JEC 検討委員会全体会合
  - > 報告: 石川幹子(東京大学工学研究科教授)  
「東日本大震災復興計画の現在-宮城県及び仙南市町の実情を通して」
- ・ 2011年9月10日(土):
  - > 第4回JEC 検討委員会全体会合
  - > 報告: 小林光(慶応大学教授・前環境省事務次官)  
「東日本大震災後の復興・再生と環境行政の新たな諸課題」
- ・ 2011年12月10日(土):
  - > 第5回JEC 検討委員会全体会合
  - > 報告: 原田純孝(中央大学法科大学院教授)  
「大震災からの復興・再生と土地法制面における諸問題」

- ・ 2012年1月20日（土）：
    - ＞第6回 JEC 検討委員会全体会合
    - ＞報告：堀畑まなみ（桜美林大学）・尾崎寛直（東京経済大学）・根本志保子（日本大学）・土井妙子（金沢大学）・除本理史（大阪市立大学）
    - 「福島原発事故による被害実態－飯舘村、浪江町住民からの聞き取り調査報告」
  - ・ 2012年5月25日（金）：
    - ＞第7回 JEC 検討委員会全体会合
    - ＞報告：窪田亜矢（東京大学准教授）
    - 「大槌町の歴史文化資源調査と復興まちづくり」
  - ・ 2012年6月23日（土）：
    - ＞第8回 JEC 検討委員会全体会合
    - ＞報告：池田こみち（環境総合研究所副所長）
    - 「震災がれき（災害廃棄物）の広域処理の実情と問題点」
  - ・ 2012年7月27日（金）：
    - ＞第9回 JEC 検討委員会全体会合
    - ＞報告：高橋敏彦氏（北上市市長）
    - 「自治体連携による沿岸被災地支援～北上市が実施する応急仮設住宅運営より～」
- \* 上記の全体会合と並行して、各有志グループで、現地視察・ヒヤリング調査等を実施。
- \* JEC 準機関誌『環境と公害』（岩波書店）にて、第41巻第1号（2011年7月刊）以降、<特集>「東日本大震災と原発事故」シリーズ①～⑥を編集。

## **2. JEC 農中総研委託調査研究について：**

株式会社農林中金総合研究所（以下、甲という）と日本環境会議（以下、乙という）は、2011年3月11日に発生した東日本大震災および福島第一原発事故にともなう日本の農業・林業・水産業及びそれらに依拠してきた地域社会（地域コミュニティ）へのかつてない甚大な被害の深刻さを受けとめ、それらの産業および地域社会（地域コミュニティ）の今後の復興・再生に向けた独自の調査研究（以下、当該調査研究という）を推進していくために、以下のように委託契約を締結する。

### **<調査研究の委託>**

1-1 甲は、乙に対して、当該調査研究の推進のための委託を行う。乙は、この委託を受けて、当該調査研究を推進する。

1-2 当該調査研究にあたっては、甲との協議を踏まえて、乙の事務局のもとに設置している「東日本多重災害復興再生政策検討委員会」がその推進と運営について責任をもち、同委員会のもとに別添資料5.に記載した中核メンバーによる推進チームを編成する。

1-3 当該調査研究のテーマは「震災復興再生政策研究」とし、当面、①東日本大震災及び福島第一原発事故にともなう農業・林業・水産業への多面的な被害の実態把握とその評価に関する調査研究、②当該被害の救済・補償・回復・再生のために求められる諸政策に関する調査研究を実施する。

1-4 甲と乙は、適宜、当該調査研究の具体的な推進のために必要な連携と協力を行うものとする。

**<別添資料5>農林中金総合研究所による委託調査研究推進チームのメンバー構成**

- ①寺西俊一（日本環境会議事務局長・一橋大学教授）（環境経済学・環境政策論）
  - ②長谷川公一（日本環境会議理事・東北大学教授）（環境社会学・地域コミュニティ論）
  - ③村山武彦（日本環境会議常務理事・東京工業大学教授）（環境工学・災害リスク論）
  - ④大久保規子（日本環境会議常務理事・大阪大学教授）（行政法・環境法学）
  - ⑤除本理史（日本環境会議常務理事・大阪市立大学准教授）（環境経済学・環境被害論）
  - ⑥山下英俊（日本環境会議常務理事・一橋大学准教授）（資源経済学・資源政策論）
  - ⑦佐無田光（日本環境会議常務理事・金沢大学准教授）（地域経済学・地域政策論）
  - ⑧尾崎寛直（日本環境会議常務理事・東京経済大学）（環境社会学・地域福祉論）
- （\*必要に応じて、適宜、メンバーの補充を図るものとする。）

**3. 同契約にもとづく今後の調査研究の体制とその進め方について：**

- (1) 当該調査研究推進チームの責任者を寺西が務め、全体を統括する。
- (2) 当該調査研究推進チームの事務局を山下・尾崎にお願いする。
- (3) 当該調査研究推進チームの活動は、農中総研のメンバーとも協働して進め、協働の具体的なあり方については、適宜、岡山氏・石田氏・寺林氏と協議を行う。
- (4) JEC 検討委員会の全体会合と並行して、当面、次の3つの検討部会(WG)を立ち上げ、全体で情報を共有しつつ、相互に連携を図りながら、それぞれのWG単位での具体的な調査研究活動を進め、全体会合等で、それらの成果を集約していく。

~~~~~

①<産業&地域再生検討部会> (WG1) (仮称)：

コアメンバー：◎長谷川、○尾崎、佐無田、山下、+希望メンバー等

②<復興行財政検討部会> (WG2) (仮称)：

コアメンバー：◎井上(博)、○寺西、関、+希望メンバー等

③<原発被害補償検討部会> (WG3) (仮称)：

コアメンバー：◎除本、村山、根本、土井、堀畑、+希望メンバー等

~~~~~

注1：◎印>部会責任者、○印>部会事務局をお願いする。

注2：各検討部会(WG)で取り組むべき調査研究の具体的な課題やテーマ等については、10月19日(金)の第10回JEC検討委員会全体会合で討議を行い、それを受けて各検討部会(WG)毎に今後の調査研究の方針を検討してもらう。

- (5) JEC シニアメンバー等には、適宜、当該調査研究に対する意見・助言をお願いする。
- (6) 新ニッセイ助成研(代表：長谷川)の取り組みとの調整・連携に配慮する。
- (7) 以上の調査研究の活動はJECHPに掲載し、研究成果は、適宜、『環境と公害』(岩波書店)の<特集>「東日本大震災と原発事故」シリーズや農中総研出版物等で公表していく。また、必要に応じて、対外的な提言等の発表、出版企画等も検討していく。

#### 4. 当面、向こう1年間の大まかなスケジュール案：

\*2012年10月8日（月）（於・東北大学）：

新ニッセイ助成研（代表：長谷川）の発足会合

>申請メンバーとして、尾崎、石田、JEC検討委員会からは、寺西・山下がオブザーバーとして出席

\*2012年10月19日（金）（於・農中総研会議室）：

第10回JEC検討委員会全体会合

>「震災復興にむけての農中総研の取り組みとJEC検討委員会調査研究への期待」  
（岡山信夫・農中総研専務取締役）

>「今後のJEC農中委託調査研究の課題と進め方について」（寺西・石田）

\*2012年11月30日（金）（於・農中総研会議室）：

第11回JEC検討委員会全体会合

（この間、各検討部会毎の会合・調査研究活動等）

\*2013年2月2日（土）（於・一橋大学）：

ニッセイ助成研究（代表：岡本）公開WS

\*2013年3月中旬または下旬：

第12回JEC検討委員会全体会合

\*2013年5月中旬または下旬頃：

第13回JEC検討委員会全体会合

\*2013年6月中旬または下旬頃：

第14回JEC検討委員会全体会合

\*2013年7月下旬頃：

第15回JEC検討委員会全体会合

\*2013年8月31日（土）～9月1日（日）：

第30回JEC宮城大会の開催（於・南三陸町ホテル観洋）

(>上記の日程と並行して、各部会毎の研究会、全体または各WG単位等で、適宜、現地視察・ヒヤリング調査等を実施していく。)

(以上)